

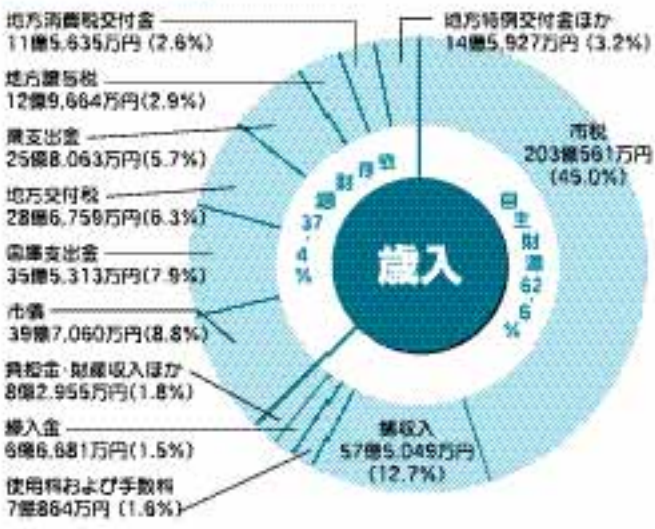
市民一人当たりでは・・・

<p><b>使われたお金</b> 371,218円</p> <p>お年寄りや 身体の不自由な 方などへの 福祉費</p> <p>67,746円</p>	<p><b>納めていただいた市税</b> 176,457円</p> <p>固定資産税</p> <p>83,850円</p>
<p>建設費などに 使った 57,694円</p> <p>学校施設の 建設費</p>	<p>市民税</p> <p>74,019円</p>
<p>借入金 の返済に 使った 56,164円</p> <p>借入金 の返済</p>	<p>都市計画税</p> <p>10,488円</p>
<p>市役所経費や 選挙費などに 使った 54,666円</p> <p>市役所経費や 選挙費</p>	<p>たばこ税</p> <p>5,808円</p>
<p>道路や橋など の建設費に 使った 51,694円</p> <p>道路や橋など の建設費</p>	<p>軽自動車税</p> <p>1,880円</p>
<p>ごみ処理や 公衆衛生費に 使った 35,220円</p> <p>ごみ処理や 公衆衛生費</p>	<p>入湯税</p> <p>378円</p>
<p>議会や消防 団の活動に 使った 28,256円</p> <p>議会や消防 団の活動</p>	<p>特別土地保有税</p> <p>34円</p>
<p>農業を 営むために 使った 19,778円</p> <p>農業を 営むために</p>	

※一般会計歳出をもち、平成18年4月1日現在の人口115,074人で計算して算出。

一般会計 歳入・歳出の内訳

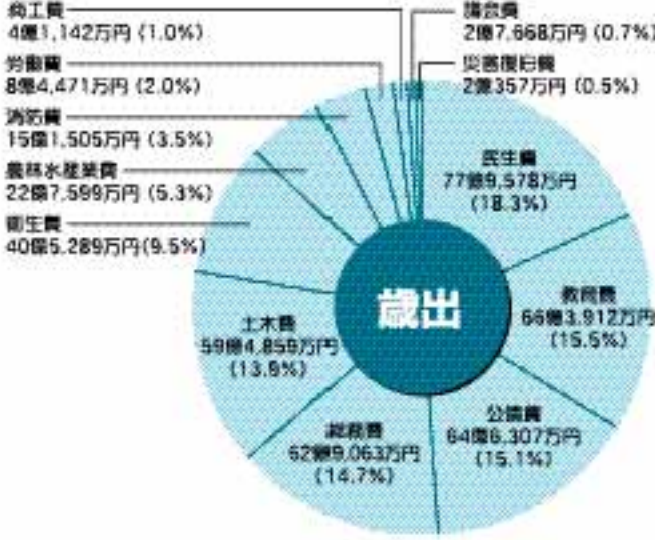
歳入額 451億4,531万円



**自主財源**  
市が自ら調達することができる収入。市税をはじめ、基金などからの「繰入金」、保険料などの「分担金・負担金」、市営運動施設使用料などの「使用料・手数料」。

**依存財源**  
自主的に収入できる自主財源に対し、国や県の決定や割り当てに基づいて収入するもの。

歳出額 427億1,750万円



**《債務残高の増加理由》**  
普通会計の地方債残高は5億円減少しましたが、公共下水道事業の本格化などにより普通会計以外の地方債残高が11.4億円増えたこと、また、子育てセンターひだまりや母川こども園の建設などに伴い債務負担行為残高が10.0億円増加したことなどにより、前年から17.7億円増加しました。

**掛川市の総債務残高**  
1,021.1億円  
(前年比17.7億円増)

普通会計の地方債残高 524.9億円  
普通会計の債務負担行為残高 92.2億円  
その他の会計の地方債残高 288.8億円  
一部事務組合地方債残高 37.4億円  
(ごみ処理などを共同で行うため沼津市町で構成する組合)  
(財)掛川市開発公社長期借入金残高 78.1億円  
(この中には学校給食センター「こうようの庄」、高齢者保健「すてやが」の用地など、市が買い戻す土地にかかる借入金が含まれています。)  
その他の第三セクターの長期借入金残高 3.7億円  
(公共施設のため市が出資する会社・財団)

歳出総計 863億8,735万円

平成17年度各種会計決算の総括

会計	区分	歳入(収入済額)(A)	歳出(支出済額)(B)	差し引き(A-B)
一般会計		451億4,531万円	427億1,750万円	24億2,781万円
特別会計	国民健康保険	89億8,037万円	86億3,177万円	3億7,220万円
	老人保健	88億3,374万円	88億7,663万円	-4,289万円
	介護保険	60億2,250万円	59億1,777万円	1億2,073万円
	公共用地取得	5億2,313万円	3,341万円	4億8,972万円
	駅周辺施設管理	1億4,505万円	1億4,121万円	384万円
	簡易水道	2,316万円	1,557万円	759万円
	公共下水道事業	36億7,637万円	35億9,743万円	1,020万円
	農業集排水事業	12億7,349万円	12億7,349万円	0万円
	浄化槽汚水処理事業	5,955万円	5,955万円	0万円
	温泉事業	2億2,999万円	1億9,809万円	490万円
企業会計	上西郷財産区	309万円	38万円	271万円
	桜木財産区	41万円	27万円	14万円
	東山財産区	505万円	249万円	256万円
	佐束財産区	1,157万円	1,072万円	85万円
	天浜線経営助成	6億7,895万円	6億7,895万円	0万円
	水道 収益的収支	30億3,557万円	27億3,732万円	2億9,825万円
	企業事業 資本的収支	7億1,882万円	18億2,954万円	-11億1,072万円
	病院事業 収益的収支	87億3,539万円	87億9,216万円	-5,677万円
	病院事業 資本的収支	2億2,000万円	9億1,770万円	-6億9,770万円
	合計	882億2,577万円	863億8,735万円	18億3,842万円

※老人保健会計における不足額は、翌年度繰入充用金で補てんされています。  
 ※企業会計における不足額は、病院会計は過年度分損益勘定留保資金などで、水道会計は当年度分および過年度分損益勘定留保資金、建設改良積立金などで補てんされています。  
 ※企業会計における収益的収支のうち、収益的収入は水道料収入や病院の入院、外来の診療収入など、支出は材料費や電気料、職員給与など、また、資本的収支のうち、資本的収入は企業債や水道工事負担金収入など、支出は病院の医療機器の購入や水道管布設などの投資的経費と企業債の元金償還金など。

市民一人当たりの資産は167万円、負債は51万円

●右のバランスシートは、普通会計ベース(一般会計、公共用地取得会計、駅周辺施設管理会計、温泉事業会計)で作成してあります。これにより、土地、建物、現金など資産の合計額は1,918億円、市民一人当たり167万円の資産となります。  
 一方、負債は、地方債残高524.9億円(固定負債「地方債」と流動負債「翌年度償還予定額」の計)が主なもので591.5億円、市民一人当たりでは51万円の負債となります。資産から負債を引いた正味資産は1,326.5億円、市民一人当たりでは115万円です。また、資産に対する正味資産の比率は69.2%となり、市の資産の約7割は返済義務がないことを示しています。  
 なお、地方債の償還(返済)が将来にわたることについては、地方債を活用して取得した公共施設の便益が将来の世代にも及ぶことから、世代間の公平を図る一面もあります。

平成17年度 バランスシート(総務省基準)

<b>資産</b>	有形固定資産 1,704.3億円 道路・土台・公共施設・消防・農業関係など
	投資等 148.9億円 投資・出資金・貸付金・特定目的基金など
	流動資産 64.8億円 現金・貯蓄債権基金・未収金(地方税等)など
<b>負債</b>	固定負債 479.4億円 地方債
	流動負債 86.6億円 退職給付引当金
	流動負債 翌年度償還予定の元金償還金 45.5億円
<b>正味資産</b>	負債計 591.5億円
	国庫支出金 201.1億円
	歳支出金 119.1億円
	一般財源等 1,006.3億円
	正味資産計 1,326.5億円

平成17年度 掛川市決算報告

新市初年度の平成17年度一般会計・特別会計決算がまとまり、9月の市議会定例会で認定されました。6月の市議会定例会で認定された企業会計決算と合わせると、歳入総額は、882億2,577万円、歳出総額は、863億8,735万円となっています。

◎総務課(☎21-1133)